【論文】【研究ノート】【実践報告】【その他】＞MSゴシック11ポ。いずれか1つ選び3つは削除。タイトルとの行間はあけない。

日本語タイトルMS明朝14ポ，中央揃え

―2行以上の場合の行間は「最小値・間隔0pt」で設定―

The English Title Should Be 14 pt. Times New Roman, Centered: Uppercase and Lowercase Heading

１行あき

執筆者名＞MS明朝11ポ中央。連名の場合は中黒（・）で区切る

Author’s Name**＞**SURNAME First name and SURNAME First name 11pt. Times New Roman, Centered

1行あき

**Abstract＞**11 pt. Times New Roman, Boldface, Centered

11 pt. Times New Roman. The abstract should be a single paragraph between 100 and 150 words. Justify and indent both ends of the whole paragraph two spaces. .XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX….

1行あき

**キーワード**: MS明朝11ポ，1行で5つ以内，全角カンマで区切る，

ＸＸＸＸＸ

**Keywords:** No more than 5 words and phrases, 11 pt., Times New Roman, XXXXX, XXXXX （コロンの後ろでそろえる）

1行あき

1. ページレイアウト**＞**章見出しMSゴシック12ポ中央

1行あき

1.1 レイアウトとフォント**＞**節見出しMSゴシック11ポ左詰め

ページレイアウトは，余白左右天地30㎜，フォントの和文をMS明朝，英数字を半角Times New Roman 11ポ，文字数と行数は40×40と設定する。読点は全角カンマ（，），文末は句点（。）を使用。文字列はすべて両端揃え。書き出し1文字インデントする。ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

改行し，新しい段落を始める場合は，書き出し1文字インデントする。小見出しがある場合は1.2以下参照。ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき。ただし改ページの場合はこの限りではない。以下同様。

1.2 様々な引用方法と小見出しの付け方**＞**節見出しMSゴシック11ポ左詰め

1.2.1 参考文献からの引用：小見出しのフォントはMSゴシック11ポ左詰めとし，全角コロンの後に本文（MS明朝11ポ）を書き出す。ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

　改行し，新しい段落を始める場合は，1文字インデントする。参考文献などからの引用はAPA第７版に準じる。長い引用の場合は，以下のように，1行あけ，さらに左端を2文字下げ，書き出しもインデントしない。最後に引用文献（著者名，年号，ページ）をつける。引用文を筆者が日本語に訳した場合には以下の要領で表す。引用文の下は1行あける。ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。（Byram, 2017, p. 59：筆者訳）

1行あき

　ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

1.2.2 記述式のアンケートなどからの引用：回答者からのコメントなどを箇条書きで表す場合は，以下のように1行あけ番号を使わず中黒（・）で始め，ワード機能に従い両端を揃える。ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

* ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。
* ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。さらに小見出しをつける場合は，1行あけて，2文字インデントして(1)，①の順に記号を使い，MSゴシック，見出しの後にコロンをつけ，その後本文を書きだす。ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

(1) パーレンの使い方：本文中のパーレンは，日英数字を問わず全角とする（例：『言語教師のポートフォリオ（J-POSTL）』，（2017），（Byram, 2008））。引用文献を示す場合も同様である。

改行し，新しい段落を始める場合は，1文字インデントする。ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

(2) 参考文献著者名の引用方法など：本文中での引用方法はAPA第7版に基づく。ただし，著者名が日本人で2名の場合は，清田・大崎（2010），及び，全体をパーレンで囲う場合は，（清田・大崎，2010）のように，人名間を中黒（・）で区切る。著者が3名以上の場合は，初回の引用から第1著者名他（年号）とする。

1行あき

(3) 書名などの表し方：日本語の書名は二重カギかっこ（『　』）でくくる。英語の書名・雑誌名の場合はイタリックスで表記する。論文などの日本語タイトルはカギかっこ（「　」），英語タイトルは半角シングル・クォ－テーション（‘ ’）とする。ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

1.2.3 注の出し方：注は脚注ではなく，本文と参考文献の間にまとめて記載する。本文中では「これは注釈の例1」というように右肩上付で数字を順番に付けておく。ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

1.3 節の見出し**＞**MSゴシック11ポ左詰め

1.3.1 小見出し：ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

1.3.2 小見出し：ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ。

1行あき

1. 表や図などの作成方法**＞**章見出しMSゴシック12ポ中央

1行あき

2.1 表の作成**＞**節見出しMSゴシック11ポ左詰め

表は本文中に1行あけて入れ，通し番号をつける。左寄せにして配置する。表中の文字や数字は，原則としてMS明朝とTimes New Roman 11ポだが，収まらない場合は，最低10ポまでとする。これ以上小さすぎると，印刷時に見にくくなってしまうため注意する。

表の後に次のセクションが続く場合は，2行スペースを入れる。本文が続く場合は1行あける。

1行あき

表1

海外経験者（OE-T）内の教育歴と海外経験のタイプ別クロス集計（*N*=3,034）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 5年未満 | 5～10年未満 | 11～20年未満 | 21年以上  |
| 回答数 | 850 | 650 | 687 | 847 |
| OT | 226 (26.6%) | 167 (25.7%) | **215 (31.3%)** | **379 (44.7%)** |
| Short-OS | 106 (12.5%) | 97 (14.9%) | 99 (14.4%) | 137 (16.2%) |
| Long-OS | 227 (26.7%) | **200 (30.8%)** | 176 (25.6%) | 175 (20.7%) |
| other | **291 (34.2%)** | 186 (28.6%) | 197 (28.7%) | 1. (18.4%)
 |

2行あき

# 2.2 図の作成

# 図は本文中に入れ，通し番号をつける。左寄せにして配置する。図や写真は原則として白黒印刷されるため，色をつけない。グラフの中の背景も色をつけない。また，軸についている数字や文字も見やすい大きさに揃えておく。

# なお，図表を他の文献資料から転載する場合，転載許可の要不要を確認すること。転載許可が必要な場合は，投稿までに，著者の責任において，許可を得ておくこと。

1行あき

図1

自己評価平均値5項目の推移（*N*=34）

1行あき

注＞MSゴシック11ポ。左詰め。2行目の文頭は1行目にそろえる。

1. 注は脚注ではなく，本文と参考文献の間にまとめて記載する。注は脚注ではなく，本文と参考文献の間にまとめて記載する。

2. 本文中では「これは注釈の例1」というように右肩上付で注をつけておく。

謝辞＞MSゴシック11ポ。中央。

本稿は，日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（〇）「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」（課題番号：00K00000，研究代表者：×××××）の助成による研究成果の一部である。

参考文献＞MSゴシック11ポ。中央。最下段の注意事項参照のこと。

1行あき

久村研（2013）．「集計結果から見た全体の傾向」『英語教師の成長に関わる枠組みの総合的研究』平成24年度科学研究費補助金基盤研究（B）（代表：早稲田大学　神保尚武）研究成果報告書．JACET教育問題研究会． 定期刊行物は誌名だけで特定できない場合，（　）で刊行所（学会・大学・出版社）を併記する。『＊＊大学紀要』や『＊＊学会論集』などの場合は不要。論文名は「　」，書籍・雑誌は『　』。年号のあとのピリオドは全角。

JACET教育問題研究会（2013）．『英語教師の成長に関わる枠組みの総合的研究』平成24年度科学研究費補助金基盤研究（B）（代表：早稲田大学　神保尚武）研究成果報告書. JACET教育問題研究会.

望月正道・小菅敦子・小菅和也・淡路佳昌・富島奈央（2016）．「ベテラン教師は，若手教師の授業にどう助言するか―授業研究協議の発話分析から」『麗澤レビュー』22, 13–38. 複数の著者の記載は中黒・を使用する。

文部科学省（2010）．「日本人学生等の海外留学」

http://www.mext.go.jp/component/a\_menu/education/detail/\_\_icsFiles/afieldfile/2010/01/13/1288626\_4.pdf

Benson, P. (2006). Autonomy in language teaching and learning. *Language Teaching*, *40*(1), 20–40. <https://doi.org/10.1017/S0261444806003958>

Byram, M. (2012). Reflecting on teaching ‘culture’ in foreign language education. In D. Newby (Ed.), *Insights into the European Portfolio for Student Teachers of Languages (EPOSTL)*. Cambridge Scholars Publishing. 筆者名は「姓＋名イニシャル」だが，編著者名は「名イニシャル＋姓」の順序になる。編者が複数名の時には，(Eds.)とする。編者が2名の時は，＆の前にカンマをつけない。

Campbell, D. T., & Kenny, D. A. (1999). *A primer on regression artifacts*. Guilford Press.　著者が複数の場合に，＆の前にカンマを忘れない。書名は冒頭とコロンの後のみ大文字とし，斜字体で記載する。

その他の注意事項

* 原則としてAPA第7版の書式に従う（頁数はen dash：例20–40）。
* フォントは，MS明朝とTimes New Romanの11ポ。両端揃え。
* 本文で参考にしたり引用したりしたもののみを掲載する。和文を先に出し，和文，英文ともにアルファベット順で掲載する。2行目以降は、全角2文字（半角4字）分下げる。
* 和文の参考文献では，パーレンやカギかっこは全角を用い，出版社地名は不要。